

Change the 卸 *Future*
未来への変革

株主の皆さまへ

第112期

株主通信

事業活動の中間ご報告

2020年4月1日～ 2020年9月30日

目次

ごあいさつ	1
社長メッセージ	2
トピックス	5
連結業績ハイライト	6
セグメント別業績	7
会社概要	9
株式の状況	10

株式会社 メディパルホールディングス

証券コード7459

流通価値の創造を通じて 人々の健康と社会の発展に 貢献します。

株主の皆さまには、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

日頃のご支援に心より感謝申し上げ、ここに株主通信(第112期事業活動の中間ご報告)をお届けいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会生活が大きく変化しています。このような中、メディパルグループは、感染防止に努めるとともに、人々の健康や暮らしに欠かすことのできない医薬品、医療材料、日用品等の流通を担う企業として安定供給に総力を挙げて取り組んでおります。

いつ、いかなるときも商品を安全・安心にお届けすることを使命として、流通価値の創造を通じて人々の健康と社会の発展に貢献してまいります。

株主の皆さまには、当社グループへの変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 渡辺 秀一

厳しい事業環境

2020年4月に薬価改定が実施されたことや、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念による受診抑制などにより、医療用医薬品の市場はマイナス成長となりました。化粧品・日用品、一般用医薬品の市場においても、インバウンド需要が大幅に減少するなど、厳しい事業環境となりました。

当中間期の連結業績

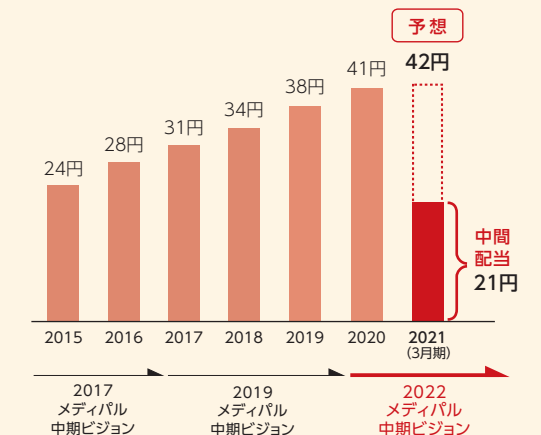
当中間期における連結業績は、売上高1兆5,884億円(前年同期比4.0%減)、営業利益180億円(前年同期比35.6%減)、経常利益239億円(前年同期比31.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益119億円(前年同期比28.0%減)となりました。医療用医薬品等卸売事業で売上が前年同期比で減少となり、厳しい事業環境から利益率が低下したことが主な要因です。

配当金のご案内

2021年3月期 中間配当金 1株当たり21円

当社は、連結配当性向30%を目安に安定配当を継続することを基本方針としております。当中間期の配当金は、株主の皆さまの日頃のご支援に報いるため安定配当を継続し、1株当たり中間配当金を21円とさせていただきます。年間配当金は42円を予定しております。

1株当たり年間配当金

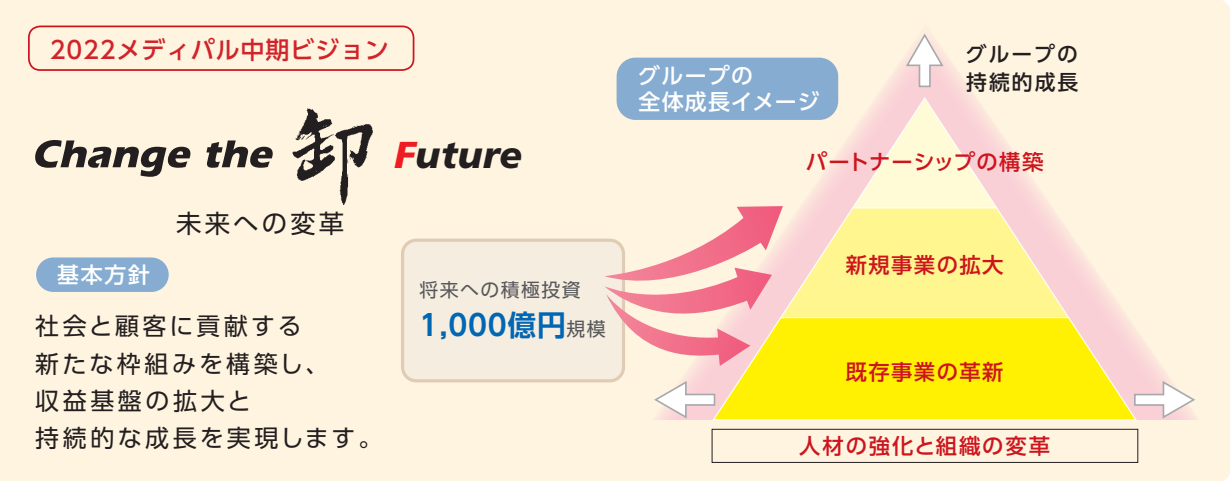


中期ビジョンに沿った取組みを
力強く推進

3か年の経営計画である「2022メディパル中期ビジョン **Change the 卸 Future** – 未来への変革」が2年目の折り返しを迎えました。中期ビジョンでは、「医療と健康、美」の流通で社会に貢献する新しい卸の形をめざし、将来を見据えた3つの成長戦略(既存事業の革新、新規事業の拡大、パートナーシップの構築)を力強く推進しております。当中間期の具体的取組みとしては、既存事業の革新では、2020年5月に高機能物流センター「広島ALC※」を、7月に「札幌ALC」を稼働いたしました。

新規事業の拡大では、10月にPMS※事業を新たな収益事業に発展させる目的で新会社「(株)ファルフィールド(東京都江東区)」を設立いたしました。

パートナーシップの構築では、6月にH.U.グループホールディングス(株)(7月1日にみらかホールディングス(株)より社名変更、東京都新宿区)と医療・ヘルスケア領域における戦略的業務提携を締結いたしました。さらに、8月にCryoport, Inc.(米国テネシー州)と日本における再生医療サプライチェーンの統合ソリューションに関して戦略的提携に合意いたしました。



コンプライアンスの徹底

当社の連結子会社である(株)メディセオは、独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)を発注者とする医療用医薬品の入札に関し、独占禁止法違反の疑いがあるとして、2020年10月に東京地方検察庁による捜索および公正取引委員会による立入り検査を受けました。当社は、(株)メディセオとともに、この度の事態を厳粛かつ真摯に受け止め、当局の捜査および調査に全面的に協力しております。

株主の皆さまをはじめ、お得意先、お取引先、関係者の皆さまには、多大なるご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社グループでは、社長の私自らが「グループコンプライアンス管掌」の任に当たり、また、組織的かつ継続的にコンプライアンス推進に取り組んでいくため、社長の直轄組織として「コンプライアンス統括室」を設置いたしました。グループ全体に対するさらなるコンプライアンスの強化を図ってまいります。

メディパルDictionary(アルファベット順)

ALC	: Area Logistics Center	医療用医薬品や医療材料などを扱う高機能物流センター。調剤薬局・病院・診療所などに商品を供給
AR	: Assist Representatives	MR認定試験に合格したMS(医薬品卸売業の営業担当者)や薬剤師などに付与した社内呼称
FLC	: Front Logistics Center	ALCと連携して、顧客に近い場所で商品の安定供給を支える営業兼物流拠点
MR	: Medical Representatives	製薬企業の医療情報担当者
PFM®	: Project Finance & Marketing	医療用医薬品の開発投資を通じて、リスクとリターンを製薬企業と共有するビジネスモデル
PMS	: Post Marketing Surveillance	医療用医薬品を発売した企業が、製品の品質・有効性・安全性を確認するために法的に義務づけられた調査

トピックス

2020年6月 事業領域が異なる企業との連携 ― H.U.グループホールディングス(株)との戦略的業務提携

H.U.グループホールディングス(株)(7月1日にみらかホールディングス(株)より社名変更、東京都新宿区)と医療・ヘルスケア領域における戦略的な業務提携を締結しました。当社グループが持つ医薬品流通のネットワークおよび専門知識と、同社が持つ質の高い臨床検査を行うための物流機能を融合させていきます。また、再生医療分野での様々な可能性についても検討を行い、医療・ヘルスケア領域におけるメディカル物流プラットフォームの構築をめざします。



左からH.U.グループHD竹内社長、メディパルHD渡辺社長

2020年6月 顧客利便性の向上 ― (株)メディセオ、「札幌ALC」を移転

北海道エリアの物流拠点として2011年より北広島市にて「札幌ALC」を稼働していましたが、医療機関の利便性向上のために札幌市内に移転しました。新しい「札幌ALC」は、札幌市の中心に近い位置にあり、高水準の物流機能を備えています。

所在地	北海道札幌市白石区中央一条二丁目1-37
敷地面積	5,580㎡(1,688坪)
稼働開始	2020年7月



札幌ALC外観

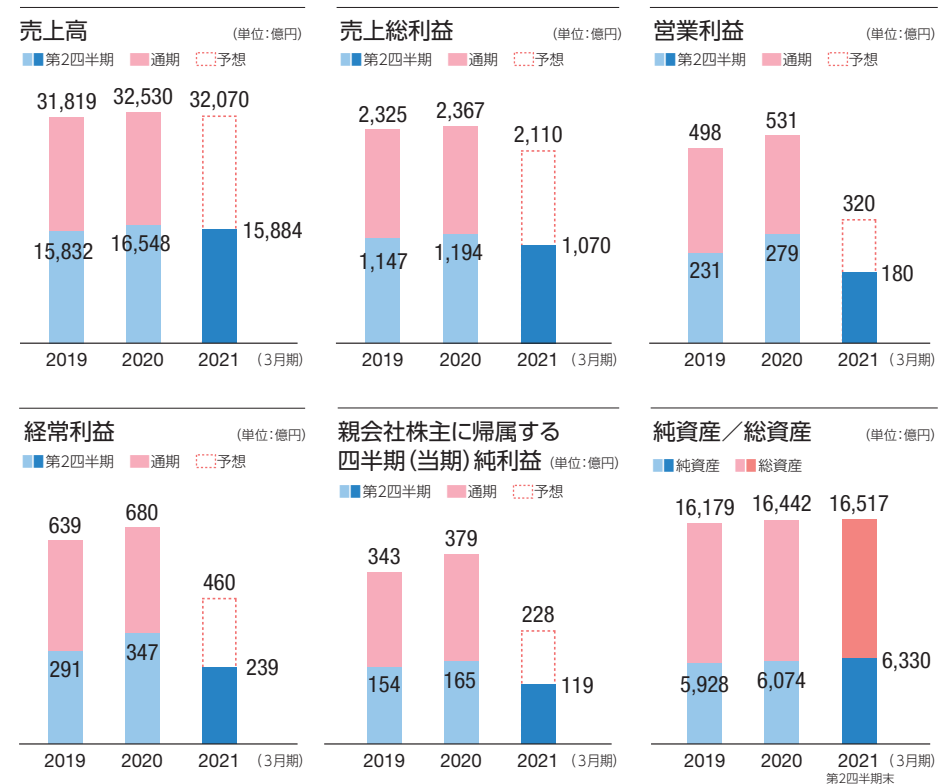
2020年8月 国内外で高品質な流通サービスを提供 ― Cryoport, Inc.(クライオポート)との戦略的提携

超低温物流を含む優れたサプライチェーン・ソリューションをグローバルに提供しているCryoport, Inc.(米国テネシー州)と、日本における再生医療のサプライチェーン構築に関して戦略的提携に合意しました。両社の強みを融合させ、バイオ医薬品企業に向けて信頼性の高いシームレスな流通サービスの提供をめざします。

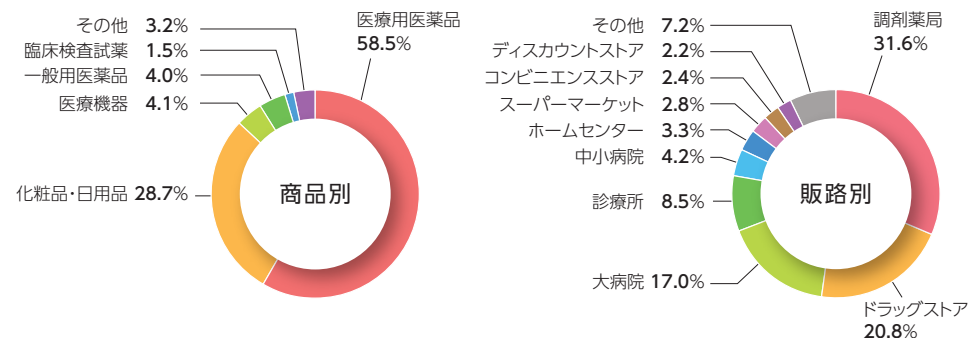
2020年10月 PMS事業の新たな展開 ― 新会社「(株)ファルフィールド」を設立

当社グループのPMS事業を独立した事業としてさらに発展させることをめざし、「(株)ファルフィールド(東京都江東区)」を設立しました。現在、医療用医薬品等卸売事業会社の3社が行っている同事業を新会社に集約し、2021年1月より、さらに質の高い機動的な体制を整備します。今後は同事業に加え、臨床研究・治験を幅広く受託します。

連結業績ハイライト(2021年3月期 第2四半期)



売上高の内訳



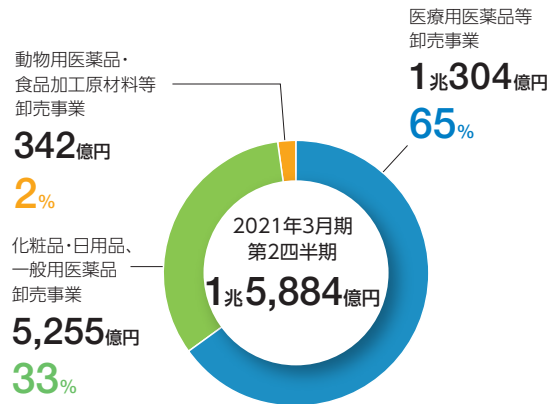
最新の
決算説明会資料を
ご覧いただけます

こちらのQRコードから
アクセスしてください。

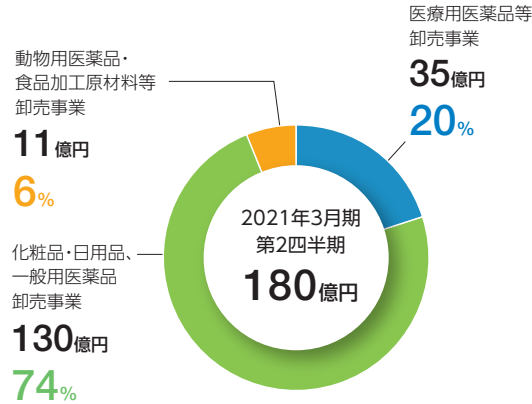


<https://www.medipal.co.jp/ir/library/presentation/>

売上高構成比

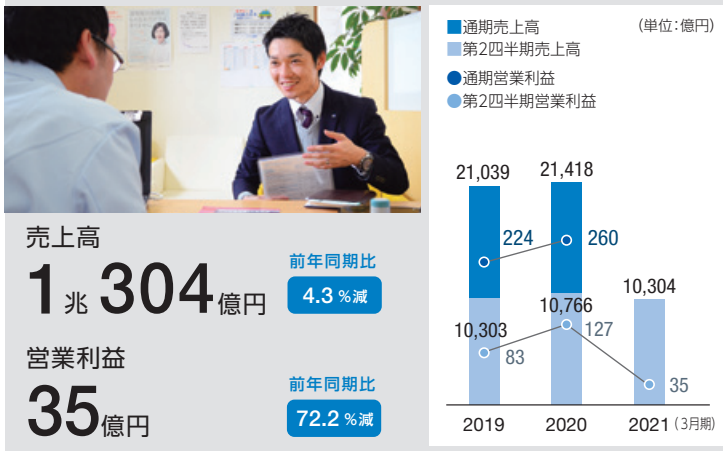


営業利益構成比



※連結消去の数字を除いて表示しているため、合計金額は一致しません。

医療用医薬品等卸売事業



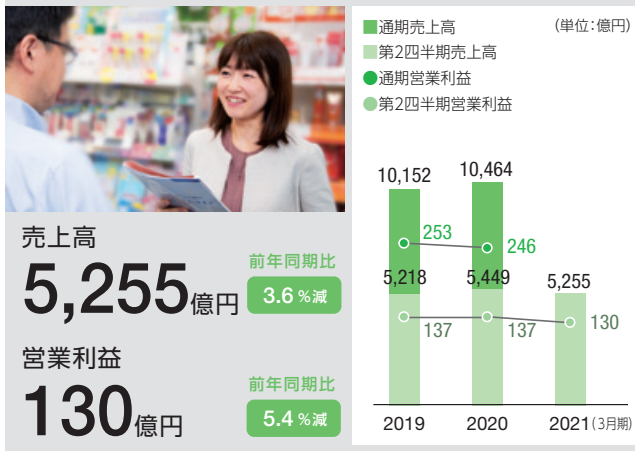
医療用医薬品等の販売は、2020年4月1日に実施された薬価引き下げの影響や、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念による受診抑制と手術件数の減少により、非常に厳しい状況で推移しました。このような状況の中、製薬企業から患者さんに至るサプライチェーン全体の最適化・効率化を図り、卸機能を最大限に発揮するために様々な取り組みを行いました。

- 高品質、高機能かつ災害対策を施したALC・FLC*の全国展開。2020年5月に「広島ALC」、7月に「札幌ALC」が稼働。
- 超低温を含めた全温度帯に対応できる物流プラットフォームの構築。顧客向けには、「個口スキャン検品*」の導入を推進し、医療従事者の業務効率化に貢献。
- AR*、PMS、PFM®*などの新規事業が収益に貢献。

*従来の伝票読み上げ方式から、納品箱単位でのバーコードスキャン方式に変更することで、検品時間を短縮する方法です。これにより接触機会が減り、新型コロナウイルス感染症のリスクも軽減します。

- | | | |
|--------------|------------------|-------------------|
| ● (株) メディセオ | ● (株) アステック | ● (株) エム・アイ・シー |
| ● (株) エバルス | ● (株) MVC | ● (株) メディパル保険サービス |
| ● (株) アトル | ● メディエ (株) | |
| ● SPLine (株) | ● (株) MMコーポレーション | |

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

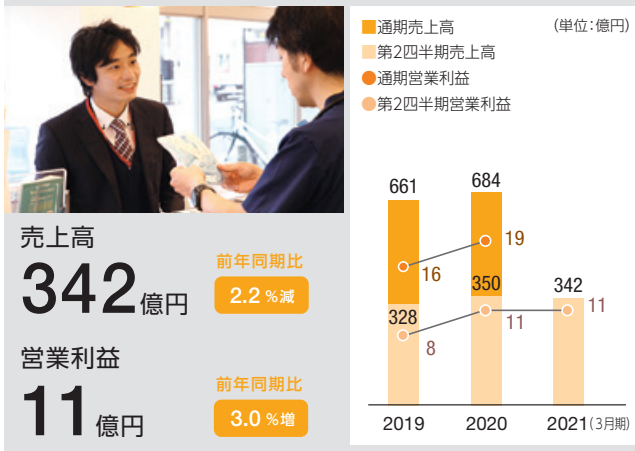


新型コロナウイルス感染症の影響を受ける状況となりました。市場環境においては、インバウンド需要の大幅な減少に加え、生活者の外出抑制などのマイナス影響を受ける一方で、衛生意識の向上に伴い、マスク・手洗石鹸・消毒液などの関連品の需要は増加しました。このような環境の中、生活者の「当たり前の日常」を支えるため、生活必需品の安定供給に注力するとともに、それを実現するために「従業員の安全を守る」環境整備に努めました。また、コロナ禍により上昇している流通全体の生産性向上に対するニーズに対応した取り組みを推進しました。

- AI・ロボット等を取り入れた新物流モデルの物流センターを運用する中で、さらなる生産性向上をめざしたノウハウを蓄積。
- 企業間の相互協力により、「コストの利益化」を実現できる流通の仕組みづくりや、生活者に商品がわたる店頭を重視した、商談の品質向上と店頭の実現率向上を図り、「売れる仕組みづくり」を推進。

- (株) PALTAC

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業



動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業の販売は、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、堅調に推移しました。

動物用医薬品

- 独自の動物病院向けWEB発注情報システム「MP+ (エムピープラス)」の利用拡大。
- 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、支店・物流センターの衛生管理の徹底や、テレワークによる受注活動を行うなど、事業継続に必要な対策を講じ、安定供給を推進。

食品加工原材料

- 新規取引の拡大や、新型コロナウイルス感染症の影響による内食需要の増加があったものの、外食・観光産業の低迷により既存取引の一部が減少し、厳しい状況で推移。

- | | |
|-------------|----------------|
| ● MPアグロ (株) | ● メディパルフーズ (株) |
|-------------|----------------|

会社概要
(2020年9月30日現在)

商号	株式会社メディパルホールディングス	
本社所在地	〒104 - 8461 東京都中央区八重洲二丁目7番15号	
資本金	223億98百万円	
創業	1898(明治31)年10月8日	
設立	1923(大正12)年5月6日	
従業員数	13,721名(連結ベース)	
取締役	代表取締役社長	渡辺 秀一
	取締役副社長	長福 恭弘
	専務取締役	依田 俊英
	常務取締役	左近 祐史
	取締役	長谷川 卓郎
	取締役	渡辺 紳二郎
	取締役	糟谷 誠一
	社外取締役	加々美 光子
	社外取締役	浅野 敏雄
	社外取締役	昌子 久仁子
監査役	社外取締役	三村 浩一
	常勤監査役	平澤 利夫
	常勤監査役	神田 茂
	社外監査役	北川 哲雄
	社外監査役	豊田 友康
執行役員	社外監査役	佐貫 葉子
	主席執行役員	鎗水 博司
	上席執行役員	川原 正範
	上席執行役員	山崎 邦衛
	執行役員	京極 光弘
	執行役員	柳井 宣人
	執行役員	筒井 久
	執行役員	柏木 整
	執行役員	橋田 一夫
	執行役員	山崎 照弘
	執行役員	平賀 久夫

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業

株式会社メディセオ(東京都中央区)

株式会社エバルス(広島市中区)

株式会社アトル(福岡市東区)

SPLine株式会社(東京都中央区)

株式会社MMコーポレーション(東京都文京区)

株式会社アステック(茨城県つくば市)

株式会社MVC(福岡市東区)

株式会社ファルフィールド(東京都江東区)^{※1}

メディエ株式会社(東京都中央区)

株式会社エム・アイ・シー(東京都文京区)

株式会社メディパル保険サービス(神戸市中央区)^{※2}

四国薬業株式会社(愛媛県松山市)^{※3}

株式会社よんやく(愛媛県松山市)^{※3}

中澤氏家薬業株式会社(高知県南国市)^{※3}

東七株式会社(長崎県佐世保市)^{※3}

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

株式会社PALTAC(大阪市中央区)

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業

MPアグロ株式会社(北海道北広島市)

メディパルフーズ株式会社(札幌市中央区)

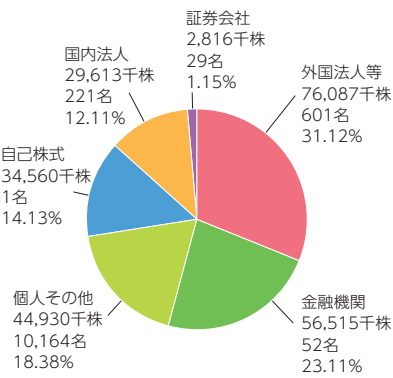
※1 2020年10月1日に設立
※2 2020年4月1日に(株)トリムより商号変更
※3 資本・業務提携会社

株式の状況
(2020年9月30日現在)

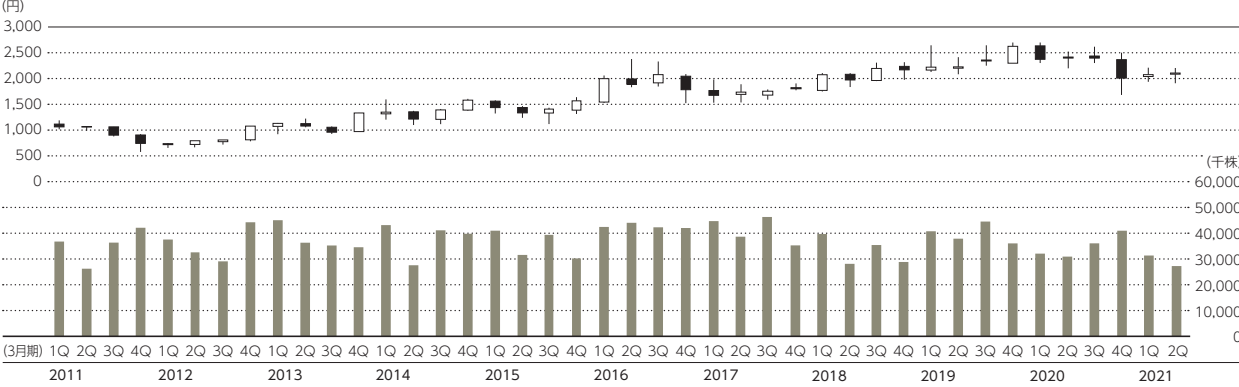
株式の状況

発行可能株式総数	900,000,000株
発行済株式総数	244,524,496株
株主数	11,068名

所有者別分布状況
(持株比率)



株価及び株式売買高の推移
(四半期定)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会基準日 毎年3月31日
	期末配当基準日 毎年3月31日
	中間配当基準日 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7459
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168 - 0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120 - 782 - 031 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(インターネット ホームページ照会先)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

マイナンバー制度に関する お手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

株式関係事務におけるマイナンバーの 利用

法令に定められたとおり、支払調書に株主さまのマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。このため、株主さまからお取引のある証券会社等へ、以下のとおりマイナンバーを届出いただく必要がございます。

証券会社の口座で株式を管理されている株主さま

お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主さま

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部(左記の電話照会先)までお問い合わせください。

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、上記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

見直しに関する注意事項

この株主通信に記載されている当社グループの計画、見直し、戦略などは、経済の動向、業界の動向、市場の競争状況などの影響を受けます。そのため、実際の業績はこれら見直しと異なる可能性がありますことをご承知おきください。